

図書だより 10月号

秋田県立十和田高等学校図書館

令和5年10月24日/編集：2A 図書委員

ガラス書架***今月のテーマは『秋色』

☆ 2A 図書委員によるオススメ作品 ☆

◎「君の臍臓を食べたい」 住野よる著（双葉社）

映画化されている本です。毎日を大切に過ごそうと思える本です。ぜひ手にとってみてください。



◎「佐賀のがばいばあちゃん」 島田洋七 著（徳間書店）

アキヒロが叔母さんに連れられて広島から佐賀に引っ越します。佐賀のおばあちゃんはとても節約上手で沢山の知識を得ることができるし、感心もさせられます。映画にもなっている本です。



○秋田県教育関係職員互助会より 図書の寄贈○

秋田県教育関係職員互助会より12万円分の図書購入費の寄贈がありました。5月に全校生徒の皆さんにご協力いただいた「図書の購入に関するアンケート」を参考にして、さらに、統合を見据えて小坂高校と花輪高校と調整しながら、本校では100冊の本を購入しました！アンケートへの回答、ありがとうございました。皆さんからのリクエスト全てに答えられなかったのが残念ですが、きっと「面白そう」と思ってもらえる本を選書しました。

一部を紹介しますので、どうぞ図書館に足を運んでみてください。

○ 54字の物語シリーズ(10冊)

現在、県立図書館から借りている「セット貸出」の中にもあるシリーズです。1編54字で完結しているのも面白いのですが、1編読んだ後の「気づき」がさらに面白い作品です。



○ 小林賢太郎戯曲集(3冊)

絶版になってしまった作品もあり、残念ながら全部揃えることはできませんでした。現在はコンビでの活動を終了している2人組お笑いユニット「ラーメンズ」のメンバー、小林賢太郎さんが記した戯曲集です。もう一人は俳優や彫刻家として活躍している「片桐仁」さんなんだけど…知ってるかなあ…。皆さんのリクエストの中から選書しました。まずはYoutubeで2人の舞台をしてみるのも面白いかも。



○ こども手に職図鑑

タイトルに「こども」とあるからといって侮ってはいけません。AI技術が発達し続ける現代において、私たち人間ができる仕事、人間にしかできない仕事はどんなものがあるかを教えてくれる図鑑です。給料等も現実的に書かれていて、面白いです。



～新着図書～ まだまだあります！

<p>都道府県の持ちかた (バカリズム/ポプラ社)</p>	<p>リクエストがあった1冊です。「新書」です。 孤高のピン芸人・バカリズムの伝説のネタ「地理バカ先生」がついに書籍化！都道府県を持つとしたら、どう持つ？ そんな奇想天外なネタを全47都道府県網羅！</p>
<p>恋に焦がれたブルー (宇山圭介/集英社)</p>	<p>『桜のような僕の恋人』の著者の本です。 恋する気持ちが、身体を焦がして傷つける。 ただ普通の恋がしたかった。ひたむきで痛切なラブストーリー。靴職人を目指す歩澄は、高校生の時、同学年の青緒に恋をした。いつもボロボロのローファーを履き、ひとりぼっちの青緒に、歩澄は手作りの靴を贈ろうと思い立つ。恋する気持ちを靴に込めようとする歩澄のひたむきな想いに触れ、青緒も彼に惹かれてゆく。しかし青緒は、彼を愛おしく思う気持ちが身体に痛みを与える不思議な病を発症してしまう。歩澄の愛情が、青緒の身体を焦がすように傷つけ……。</p>
<p>文豪たちの鬱語録 (豊岡昭・高見澤秀/秀和システム)</p>	<p>「生きてゆくから、叱らないで下さい」(太宰治)、「わがこの虚空のごとき、かなしみを見よ。私は何もしない。何もしていない」(宮沢賢治)など、文豪が人生をはかなみ、社会に唾を吐き、鬱々とさせる言葉には、言いたいことを素直に表現した爽快感があります。本書は、文豪たちの本音ともいえる憂鬱、絶望、悲哀、慟哭に満ちた言葉をすくいとった、ちょっと変わった語録です。文豪があなたの傷ついた心に寄り添い、ソッとなぐさめます。</p>
<p>絶唱 (湊かなえ/新潮社)</p>	<p>「湊かなえさんの本」というリクエストにお応えしました。もう一冊、『サファイア』も購入しています。 五歳のとき双子の妹・毬絵は死んだ。生き残ったのは姉の雪絵——。奪われた人生を取り戻すため、わたしは今、あの場所に向かう(「楽園」)。思い出すのはいつも、最後に見たあの人の顔、取り消せない自分の言葉、守れなかった小さな命。あの日に今も、囚われている(「約束」)。誰にも言えない秘密を抱え、四人が辿り着いた南洋の島。ここからまた、物語は動き始める。喪失と再生を描く号泣ミステリー。</p>

お知らせ

図書館は統合に向けた準備のため、2学期いっぱい通常貸出を休止する予定です。でも、3学期も本を借りられるよう、場所ややり方を検討中です。まずはお知らせでした。